

名誉会員・会長表彰

【会長表彰】青 木 信 成

(機械部門)



1. 略歴

技術士登録 (H26)
日本技術士会入会 (H22：準会員、H26：正会員)
北海道本部事業委員会委員 (H27～現在)
北海道本部幹事 (R1～現在)
統括本部機械部会地域幹事 (R1～現在)
統括本部機械部会副部会長 (R3～R6)
統括本部総務委員会委員 (R5～R6)

2. 会長表彰を受賞して

このたび、「思いもよらず」日本技術士会の会長表彰に推挙いただきました。

大変光栄な事でありうれしく思うところですが、これも技術士諸兄の支えがあったのことに感謝するとともに、改めて関係各位に厚く御礼申し上げます。

日本技術士会とは一次試験に合格し、準会員登録した 2009 年以降の縁です。

50 代半ばにして技術士を目指したものの当時の職場に技術士はおらず、情報収集とモチベーション維持を兼ねて(技術士補の立場で)北海道本部主催の CPD 行事に顔を出しておりました。(当時意見交換会でご指導くださった諸先輩方その節はありがとうございました。)

そのご縁(?)なのか二次試験合格後に事業委員会に参加することとなり、その後北海道本部幹事や機械部会の地域幹事も仰せつかることにもなりました。おかげさまで、部門や専門、更には地域をまたいで多くの方々と知り合い、語らうことができています。技術士になってよかったと思うことの一つです。

これからも技術士会活動を通じ会員各位に技術士になってよかったと感じていただけるよう、微力ながらお手伝いできればと思っております。引き続きよろしくお願いします。



1. 略歴

技術士登録 (H22)
日本技術士会入会 (H23)
北海道本部広報委員会委員 (H23 ～ H30)
北海道本部広報委員長 (R1 ～ R6)
北海道本部総務委員会委員 (R1 ～ R6)
北海道本部幹事 (R1 ～ 現在)
統括本部総務委員 (R3 ～ R5)

2. 会長表彰を受賞して

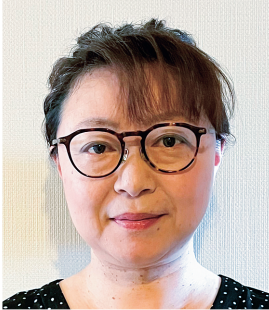
この度、北海道本部からのご推薦を受け、栄えある日本技術士会会長表彰を受賞させていただきました。これもひとえに北海道本部および関係者の皆様からのご支援の賜であり、心より感謝申し上げます

私の技術士会活動ですが、2011 年 (平成 23 年) に広報委員会委員として参画したことが始まりでした。当時の広報委員長の金様 (現北海道本部長) からお誘いを受け、委員として 8 年間務めた後、広報委員長を引き継がせて頂き、3 期 6 年間務めました。

広報委員会の主な活動は広報誌 (コンサルタンツ北海道) の編集作業なのですが、2013 年 (平成 25 年) と 2024 年 (令和 6 年) に札幌で開催された技術士全国大会では大会記念誌やポスター作成なども経験してきました。その都度委員会メンバー、北海道本部関係者の皆様からの力強い支援や協力により委員会としての任務を全うできたことに感謝しております。

その他の活動としては北海道本部幹事、統括本部総務委員会委員なども兼任させて頂きました。技術士会入会以前は自身の専門分野に近い人達との交流が主だったのですが、入会後はこれまで繋がる機会がほとんど無い分野の方達との交流も増え、視野を広げることが出来ました。

今後も微力ながら日本技術士会及び北海道本部の活動に貢献できるよう尽力していきたいと思いますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。



1. 略歴

技術士登録 (H22)
日本技術士会入会 (H22)
北海道本部広報委員会委員 (H25 ～ R6)
北海道本部事務局次長 (H27 ～ R6)
北海道本部総務委員会委員 (H27 ～ R6)
統括本部選挙管理委員会委員 (H29 ～ R2)
北海道本部幹事 (R3 ～ R6)

2. 会長表彰を受賞して

この度は、会長表彰に推薦していただきありがとうございます。今年の任期満了をもってすべての役職を退任させていただきました。まだまだ頑張っていらっしゃる諸先輩方がいらっしゃる中で恐縮ではございますが、この度、会長表彰という栄誉に浴することができました。身に余る光栄です。

技術者としての適性や素養は十分に持ち合わせていない私でしたが、技術士になることができて、ご縁があって第40回技術士全国大会の分科会メンバーとして誘っていただき、前後して、広報委員会を皮切りに、事務局、総務委員会、選挙管理委員会の各委員を歴任致しました。その後幹事も務めさせていただきました。どれほどお役に立てたかわかりませんが、会員ならびに役員の皆様に暖かく受け入れてくださり、それぞれの役職を全うできました。今回の受賞は、日々奮闘している皆様を代表して私が賞状を受け取りに行ったと思っております。

昨年の退職ならびに第50回技術士全国大会の参加をもって技術者として区切りをつけて、只今人生模索中ですが、今後は皆さまから頂いたご厚情に恩返しするつもりで、何かの形で後進の育成に携わることができたら幸いです。

